

アーティストトーク

展覧会開催中にゲストを迎え、野原万里絵と「彼我の絵鑑」について語り、その模様をWebサイトにて公開します。詳細情報は、enocoのWebサイト、SNSでお知らせします。

ゲスト | 大槻 晃実 (芦屋市立美術館 学芸員)



大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]
〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号
Tel. 06-6441-8050 Fax. 06-6441-8151
E-mail. art@enokojima-art.jp
www.enokojima-art.jp

* 地下鉄 (Osaka Metro) 千日前線・中央線「阿波座駅」下車
8番出口から西へ約150m 徒歩約3分

* 障がい等により配慮をご希望される場合は
enocoまでご相談ください

* 一般来館者用駐車場はございません
公共交通機関をご利用ください

アーティストについて

野原万里絵 | NOHARA Marie

画家。1987年生まれ。大阪在住。絵画を描く際の感覚的かつ曖昧な制作過程に関心を持ち、自ら制作した定規や型紙などの道具を用いた絵画作品を制作。また



ワークショップを日本各地で開催し、協働制作による作品も発表。他者とのコミュニケーションを通して絵画の新たな可能性を模索している。近年では2020年に、個展「埋没する形象、組み変わる景色」青森公立大学国際芸術センター青森(青森)、個展「途中は案外美しい」枚方市立御殿山生涯学習美術センター(大阪)、「整頓された混乱」gallery TOWED(東京)など。

<http://www.marienhara.info/>

enocoでは大阪府20世紀美術コレクション貸出事業を実施中。公共空間等での展示にご活用ください。詳細はWebサイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の状況により中止または延期、内容の変更を行う場合があります。最新情報はWebサイトをご確認ください。

展覧会Webサイト

www.enokojima-art.jp/higanoekagami/



大阪府20世紀美術コレクション展

ひが え かがみ
彼 我 の 絵 鑑

Lexicon of images for cognition

野原万里絵 | NOHARA Marie

2021.3.30 tue — 5.1 sat 11:00-19:00 月曜休館 入場無料

会場 | 大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 1F room4

主催 | 大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

大阪府は、大阪府20世紀美術コレクションとして、20世紀後半に制作された作品を中心に、約7,900点におよぶ国内外の様々な美術作品を所蔵しています。大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] では、このコレクションの魅力により多くの人々に知っていただくこと、またこれらのコレクションの活用と展示の可能性を探ることの二つを目的として、2018年度から、気鋭の若手アーティストを招いて、新たなコレクション展の可能性を探る試みを行っています。

その第三弾として、大阪を拠点に活躍する画家の野原万里絵を招聘し「彼我の絵鑑(ひがのえかがみ)」を開催します。

野原は、絵画の制作過程に関心を持ち、自分で道具を作り、数メートルにも及ぶ大きなスケールの絵画を描き、日本各地で発表しています。また、様々な人々をまきこんだ協働制作にも積極的に取り組み、他者との関係性から生まれる、新たな絵画の可能性を探究しています。

展覧会タイトル「彼我の絵鑑(ひがのえかがみ)」の「彼我」とは、他者と私、「絵鑑」は画家たちの手法の特徴を記した鑑定用の古画帖を意味します。

今回野原は、大阪府のコレクションの中から、伊藤 継郎の「スケッチ・ブック」を起点に展覧会の構成を考え、伊藤が残したドローイングノートや、様々な作家によるコレクションを選び、作家たちの手法や考えを汲み取りながら制作した自身の新作と組み合わせで展示します。また野原は、コレクションをより身近に感じるために、enocoで約2ヶ月間に渡りレジデンス(滞在制作)を行い、近くで目を凝らせば見えてくる絵の具の微妙な重なり具合、作品の裏側や周囲から感じられる独特の空気感などから、会ったことのない作家たちが行った制作過程やその人柄に想いを馳せながら作品を作ります。

本展は、野原の作品と大阪府のコレクションをあわせて展示し、そこから絵と共に生きる人々の思考が垣間見えるような空間を構成します。

招聘するアーティストの視点によってコレクションを新たな角度から考察する本展を通して、大阪府のコレクションの魅力を感じていただくと幸いです。



上前智祐《作品(黄・横線)》油彩、キャンバス 1971年



伊藤継郎《人物デッサン(二人)》
水彩・パステル、紙 制作年不明



野原万里絵《Drawing - 計測02-》
インク・色鉛筆、紙、額装 2020年
撮影：増田好郎



伊藤継郎《スケッチ・ブック》
水彩・ペン・鉛筆、紙 制作年不明



野原万里絵《黒の立体 - 計測のドローイングより-》
アクリル絵の具・メディウム、スタイロフォーム・紙粘土 2020年
撮影：小山田邦哉／写真提供：青森公立大学国際芸術センター青森



伊藤継郎《スケッチ・ブック》
水彩・ペン、紙 制作年不明



伊藤継郎《無題》
水彩・パステル、紙 制作年不明



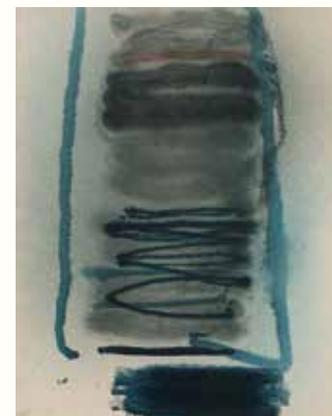
野原万里絵《石の肖像 - 埋没する形象02-》
アクリル絵の具・メディウム・ジェッツ、キャンバス・パネル 2020年
撮影：小山田邦哉／写真提供：青森公立大学国際芸術センター青森



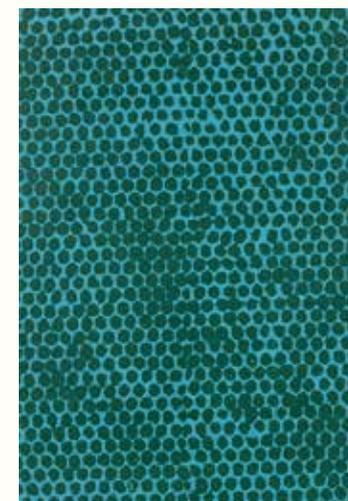
津高和一《動物》油彩、キャンバス 1956年



金光松美《妄想》リトグラフ、紙 1979年



津高和一《人間》油彩、キャンバス 1966年



上前智祐《無題》シルクスクリーン、紙 2001年

出展予定作品

*野原万里絵作品以外は全て大阪府20世紀美術コレクション
(撮影：麥生田兵吾)